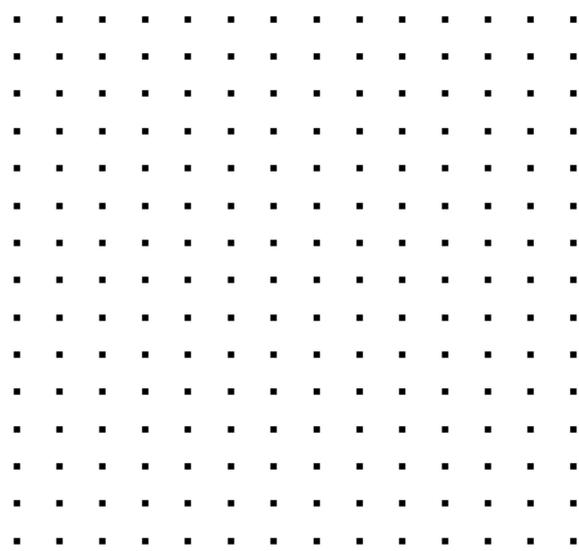


令和 3(2021)年度

中原悌二郎記念  
旭川市彫刻美術館  
年報





# 目次

展示事業	2
I 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館	2
1 常設展	2
2 企画展「中原悌二郎賞創設 50 周年特別展」	4
3 収蔵品展「存在－気配と実相のかたち」	7
4 企画展「彫刻絵本4 おもいでのおくりもの」	8
5 企画展「素材へのアプローチ-中原悌二郎賞受賞作家の金属彫刻から」	9
II 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）	10
1 企画展「中原悌二郎賞創設 50 周年特別展『& MORE in Station Gallery』」	10
2 企画展「人はそれぞれ、椅子もそれぞれ、かけ心地もまたそれぞれ」展	11
3 企画展「大学生作品展 2021」	11
4 企画展「マスターピースオブチェアーズ展-織田コレクションから-」	12
5 企画展「樹木との対話-北の彫刻家たち-展」	12
教育普及活動	13
彫刻巡回展示事業	14
中原悌二郎賞関係事業	16
旭川彫刻フェスタ事業	16
野外彫刻維持管理事業	17
その他の事業	17
印刷物の発行	18
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会	18
管理作品	18
ボランティアの会「みゆうず」	20
観覧者数	20

## 展示事業

### Ⅰ 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市彫刻美術館は、日本の近代彫刻史に優れた業績を残した旭川ゆかりの彫刻家「中原悌二郎」を記念した彫刻専門の美術館として1994（平成6）年に開設された。

悌二郎が残した全12点の彫刻を中心に、悌二郎に大きな影響を与えたロダン、萩原守衛の作品や旭川ゆかりの彫刻家の作品、旭川市が1970（昭和45）年に悌二郎の優れた業績を世間に広く知らせるとともに、日本の彫刻界の発展に貢献する目的でつくられた「中原悌二郎賞」の受賞作品等を所蔵している。

彫刻美術館本館では、常設展示のほか、1階企画展示室において収蔵作品による企画展や道内の作家による企画展を行った。

#### 1 常設展

■会期 令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）

■開催日数 247日間

（令和3年5月17日～令和3年6月20日、  
令和3年8月20日～令和3年9月30日まで臨時休館）

■展示作品数 彫刻57点（期間中一部展示替えあり）

■観覧者数 2,358名（一般1,284人／高校生29人／中学生以下465人／70才以上市民63人／免除517人）

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法(高×幅×奥行cm)
1	中原 梯二郎	女の顔	1910(明治43)	ブロンズ	26×19.5×14
2	中原 梯二郎	老人	1910(明治43)	ブロンズ	57×35.5×35.5
3	中原 梯二郎	エチュード	1914 (大正3)	ブロンズ	12×15×10.5
4	中原 梯二郎	保田龍門像	1915 (大正4)	ブロンズ	38.5×24×27
5	中原 梯二郎	坪井経蔵像	1916 (大正5)	ブロンズ	37.5×18×22.5
6	中原 梯二郎	三宅辨次郎像	1916 (大正5)	ブロンズ	34.5×19×23.5
7	中原 梯二郎	石井鶴三像	1916 (大正5)	ブロンズ	39.5×23×21
8	中原 梯二郎	憩える女	1919 (大正8)	ブロンズ	31×35.5×15
9	中原 梯二郎	若きカフカス人	1919 (大正8)	ブロンズ	42×18.5×18.5
10	中原 梯二郎	墓守老人像	1916 (大正5)	ブロンズ	60×36×43
11	中原 梯二郎	乞食老人像	1918 (大正7)	ブロンズ	51.5×31.5×32
12	中原 梯二郎	平櫛田中像	1919 (大正8)	ブロンズ	38×26×22
13	荻原 守衛	坑夫	1907(明治40)	ブロンズ	47×46.5×33.5
14	オギユスト・ロダン	ジャン・デールの裸体習作	1886-89頃	ブロンズ	103×30×25
15	一色 邦彦	ひびき	1972 (昭和47)	ブロンズ	30×40×30
16	福岡 道雄	九頭竜ダム	1976(昭和51)	ポリエステル, 木	67.5×150×59
17	桜井 祐一	レダ	1976 (昭和51)	ブロンズ	110×60×115
18	掛井 五郎	バンザイ・ヒル	1976 (昭和51)	ブロンズ	130×58×23
19	加藤 昭男	天を支える	1981 (昭和56)	ブロンズ	169×92×95
20	細川 宗英	道元	1972(昭和47)	ブロンズ, 義眼	169×50×53
21	池田 宗弘	一番近くの巨人に突っこんだ	1983-87 (昭和58-62)	真鍮	225×80×30
22	木内 克	婦人誕生	1970 (昭和45)	ブロンズ	183×50×40
23	山本 正道	風と少女	2000 (平成12)	大理石	88×70×60
24	橋本 裕臣	丘の上のかたち	1991 (平成13)	テラコッタ	140×90×140
25	広井 力	海の風	2000 (平成12)	ステンレススチール	190×110×110
26	保井 智貴	untitled	2004 (平成16)	漆, 麻布, 蠟燭, 岩絵具, 膠, スペクトロライト, 大理石	160×44×28
27	寒川 典美	ほかい人	1969 (昭和44)	テラコッタ	126×42×31
28	朝倉 響子	ニケ/N I K E	1981 (昭和56)	ブロンズ	138×47.5×69
29	笹戸 千津子	若き立像'86	1986(昭和61)	ブロンズ	171×65×49
30	岩野 勇三	なほ	1983(昭和58)	ブロンズ	128×48×50
31	佐藤 忠良	カンカン帽	1975 (昭和50)	ブロンズ	60×51.5×40
32	土谷 武	植物空間III	1989 (平成元)	チーク	231×125×125
33	澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち	1980 (昭和55)	樟, 桜, 樺	180×280×50
34	若林 奮	100粒の雨滴III	1977 (昭和52)	銅, 真鍮	8×100×100
35	建畠 覚造	CLOUD・4	1981 (昭和56)	ジュラルミン	92×70×12
36	内田 晴之	重力環一地	2000 (平成12)	チタン, ステンレススチール, マグネット, 塗料	226×130×130
37	清水 九兵衛	CORRELATION	1999 (平成11)	アルミニウム, 陶	110×164×150
38	西野 康造	アルトサククス	1988(昭和63)	ステンレス	70×12×34
39	古郡 弘	胞衣	2006 (平成18)	木, 土, 竹, 綿布, 銅, 鉛, 紙	218×150×175
40	下田 治	かみつくめす犬	1997 (平成9)	コールドテン銅	230×170×80
41	保田 春彦	聚落を囲う壁 I	1994-95 (平成6-7)	鉄	170×72.9×233.4
42	吾妻 兼治郎	Y U - 8 4 7	1997 (平成9)	ブロンズ	128×79×37
43	小清水 漸	レリーフ'80 - 4	1980 (昭和55)	桂	116×253×6.5
44	鈴木 久雄	距離群	2002 (平成14)	鍛造ステンレス鋼	235×165×140
45	植松 奎二	置-浮遊の場	2010 (平成22)	銅, 真鍮	50×240×50
46	青木 野枝	原形質2014	2014 (平成26)	鉄, ウレタン, 布, 石膏	2ピース
47	小泉 俊己	水脈(図法-1)	2010 (平成22)	鉄, 木, ガラス, 銅, 鉛, 植物図鑑, 胡桃	195×133×87.5
48	湯村 光	起源	1993 (平成5)	黒御影石	87×116×25
49	大平 實	Casa (家)	2007 (平成19)	割って折った廃材, 楓のフレーム	125×180×180
50	田中 薫	ビタゴラスの鳥	1979(昭和54)	プラスチック, モーター, 歯車	160×100×60
51	吉田 芳夫	白道	1976 (昭和51)	ブロンズ	71×31×33
52	笹戸 千津子	若き立像'86	1986(昭和61)	ブロンズ	171×65×49
53	舟越 保武	原の城	1971 (昭和46)	ブロンズ	192×55×57
54	最上 寿之	へべレケ	1976(昭和51)	カスケード松	120×90×60
55	広井 力	海の風	2000 (平成12)	ステンレススチール	190×110×110
56	深井 隆	逃れゆく思念	1989 (平成元)	樟, 金箔	90×72×57
57	西野 康造	Sky Memory 'sprit'	2015(平成27)	チタン合金, チタン, ステンレス	13×810×96

## 2 企画展「中原悌二郎賞創設 50 周年特別展」

- 会期            I 期 令和 3 年 1 月 5 日（火）～令和 3 年 2 月 28 日（日）  
                    II 期 令和 3 年 3 月 3 日（水）～令和 3 年 5 月 9 日（日）
- 開催日数    107 日間
- 展示作品数 彫刻 60 点
- 観覧者数    655 名（一般 447 人／高校生 12 人／中学生以下 39 人／70 才以上市民 56 人／免除 101 人）

1970（昭和 45）年に創設された中原悌二郎賞が本年で 50 周年を迎えた。これを記念して本展では 1970 年の第 1 回目から 2019 年の第 41 回までの受賞作品（代替作品を含む）を展示し、時代の流れと共に変化し多様化しながら発展を続ける日本彫刻界の変遷を紹介した。

展示目録 Ⅰ期					
No.	受賞回数等	作者名	作品名	制作年	材質
1	第1回	中原悌二郎賞	木内 克 <婦人誕生>	1970 (昭和45)	ブロンズ
2		彫刻の森美術館賞	富松 孝侑 <立像と座像>	1970 (昭和45)	樟
3	第2回	中原悌二郎賞	西 常雄 <藤原義江像>	1970 (昭和45)	ブロンズ
4	第3回	中原悌二郎賞	舟越 保武 <原の城>	1971 (昭和46)	ブロンズ
5	第4回	優秀賞	一色 邦彦 <ひびき>	1972 (昭和47)	ブロンズ
6	第5回	中原悌二郎賞	柳原 義達 <道標・鳩>	1974 (昭和49)	ブロンズ
7		優秀賞	木村 賢太郎 <ひそかな笑い>	1974 (昭和49)	黒花崗岩
8	第6回	中原悌二郎賞	佐藤 忠良 <カンカン帽>	1975 (昭和50)	ブロンズ
9	第7回	優秀賞	掛井 五郎 <バンザイ・ヒル>	1976 (昭和51)	ブロンズ
10	第8回	優秀賞	江口 週 <漂流と原型'77-M-2>	1977 (昭和52)	桜
11		優秀賞	小田 襄 <円柱と方形の要素>	1979 (昭和54)	ステンレススチール
12	第9回	優秀賞	若林 奮 <100粒の雨滴Ⅲ>	1977-79 (昭和52-54)	銅・真鍮
13		優秀賞	山本 正道 <秋>	1976 (昭和51)	ブロンズ
14	第10回	中原悌二郎賞	桜井 祐一 <レダ>	1976 (昭和51)	ブロンズ
15	第11回	中原悌二郎賞	寒川 典美 <ほかい人>	1969 (昭和44)	テラコッタ
16		優秀賞	澄川 喜一 <そりとそぎのあるかたち>	1980 (昭和55)	楠、桜、樺
17		優秀賞	小清水 漸 <レリーフ'80-4>	1980 (昭和55)	桂
18	第12回	中原悌二郎賞	建畠 覚造 <CLOUD-4>	1981 (昭和56)	ジュラルミン
19		優秀賞	最上 壽之 <へべレケ>	1976 (昭和51)	カスケード松
20	第13回	中原悌二郎賞	千野 茂 <皐月>	1982 (昭和57)	ブロンズ
21		優秀賞	朝倉 響子 <ニケ/N I K E>	1981 (昭和56)	ブロンズ
22	第14回	優秀賞	雨宮 敬子 <生成>	1983 (昭和58)	ブロンズ
23	第15回	中原悌二郎賞	向井 良吉 <GARONNEの旅から>	1984 (昭和59)	白銅
24	第16回	中原悌二郎賞	鈴木 実 <妻の肖像>* <一番近くの人>	1979 (昭和54)	ラワン
25	第17回	優秀賞	池田 宗弘 <一番近くの人>	1983-87 (昭和58-62)	真鍮
26	第19回	優秀賞	深井 隆 <逃れ行くゆく思念>*	1989 (平成元)	樟、金箔
27	第21回	中原悌二郎賞	土谷 武 <植物空間Ⅲ>*	1989 (平成元)	チーク
28	第22回	優秀賞	橋本 裕臣 <丘の上のかたち>	1991 (平成3)	テラコッタ
29	第23回	中原悌二郎賞	掛井 五郎 <立つ>	1992 (平成4)	ブロンズ
30	第24回	優秀賞	湯村 光 <起源>	1993 (平成5)	黒御影石
31	第26回	中原悌二郎賞	保田 春彦 <聚落を囲う壁Ⅰ>	1994-95 (平成6-7)	鉄
32	第28回	中原悌二郎賞	下田 治 <かみつくめす犬>	1997 (平成9)	コールテン鋼
33	第29回	中原悌二郎賞	清水 九兵衛 <CORRELATION>*	1999 (平成11)	アルミニウム、陶
34		優秀賞	内田 晴之 <重力環一地>*	2000 (平成12)	チタン、ステンレススチール、マグネット、塗料
35	第30回	中原悌二郎賞	吾妻 兼治郎 <Y U-847>	1997 (平成9)	ブロンズ
36	第31回	中原悌二郎賞	山本 正道 <風と少女>*	2000 (平成12)	大理石
37	第32回	中原悌二郎賞	広井 力 <海の風>	2000 (平成12)	ステンレススチール
38	第33回	中原悌二郎賞	舟越 桂 <点の中の距離>*	2003 (平成15)	楠に彩色、大理石
39	第34回	優秀賞	古郡 弘 <胞衣>*	2006 (平成18)	木、土、竹、綿布、銅、鉛、紙
40		優秀賞	保井 智貴 <untitled>	2004 (平成16)	漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、スペクトロライト、大理石
41	第35回	中原悌二郎賞	鈴木 久雄 <距離群>*	2002 (平成14)	鍛造ステンレス鋼
42	第37回	中原悌二郎賞	小泉 俊己 <水脈(図法-1)>	2010 (平成22)	鉄、木、ガラス、銅、鉛、植物図鑑、胡桃
43	第38回	中原悌二郎賞	植松 奎二 <置一浮遊の場>*	2010 (平成22)	銅、真鍮
44	第39回	中原悌二郎賞	戸谷 成雄 <漢詩的-II>*	2014 (平成26)	木、灰、アクリル
45	第40回	中原悌二郎賞	青木 野枝 <原形質/2014>*	2014 (平成26)	鉄、ウレタン、布、石膏
			*は受賞代替作品		

展示目録 Ⅱ期					
No.	受賞回数等	作者名	作品名	制作年	材質
1	第1回	中原悌二郎賞	木内 克 <婦人誕生>	1970 (昭和45)	ブロンズ
2	第2回	彫刻の森美術館賞	保田 春彦 <作品>	1969-70 (昭和44-45)	ステンレス
3	第3回	中原悌二郎賞	舟越 保武 <原の城>	1971 (昭和46)	ブロンズ
4		優秀賞	細川 宗英 <道元>	1972 (昭和47)	ブロンズ、義眼
5		優秀賞	湯原 和夫 <門>	1972 (昭和47)	真鍮
6	第4回	優秀賞	一色 邦彦 <ひびき>	1972 (昭和47)	ブロンズ
7	第6回	中原悌二郎賞	佐藤 忠良 <カンカン帽>	1975 (昭和50)	ブロンズ
8		優秀賞	土屋 武 <虫Ⅲ-a>	1975 (昭和50)	鉄
9	第7回	中原悌二郎賞	吉田 芳夫 <白道>	1976 (昭和51)	ブロンズ
10		優秀賞	掛井 五郎 <バンザイ・ヒル>	1976 (昭和51)	ブロンズ
11	第8回	優秀賞	福岡 道夫 <九頭竜ダム>	1976 (昭和51)	ポリエステル、木
12	第9回	優秀賞	若林 奮 <100粒の雨滴Ⅲ>	1977-79 (昭和52-54)	銅・真鍮
13	第10回	中原悌二郎賞	桜井 祐一 <レダ>	1976 (昭和51)	ブロンズ
14		優秀賞	田中 薫 <ビタゴラスの鳥>	1979 (昭和54)	プラスチック、モーター、歯車
15	第11回	中原悌二郎賞	寒川 典美 <ほかい人>	1969 (昭和44)	テラコッタ
16		優秀賞	澄川 喜一 <そりとそぎのあるかたち>	1980 (昭和55)	楠、桜、樺
17		優秀賞	小清水 漸 <レリーフ'80-4>	1980 (昭和55)	桂
18	第12回	中原悌二郎賞	建畠 覚造 <CLOUD-4>	1981 (昭和56)	ジュラルミン
19		優秀賞	清水 良治 <孤影>	1981 (昭和56)	ブロンズ
20		優秀賞	最上 壽之 <へべレケ>	1976 (昭和51)	カスケード松
21	第13回	優秀賞	朝倉 響子 <ニケ/N I K E>	1981 (昭和56)	ブロンズ
22	第15回	優秀賞	城田 孝一朗 <着衣像>*	1974 (昭和49)	ブロンズ
23	第17回	中原悌二郎賞	岩野 勇三 <なほ>	1983 (昭和58)	ブロンズ
24		優秀賞	池田 宗弘 <一番近くの巨人に突っ込んだ>	1983-87 (昭和58-62)	真鍮
25	第18回	優秀賞	笹戸 千津子 <若き立像'86>	1986 (昭和61)	ブロンズ
26	第21回	中原悌二郎賞	土谷 武 <植物空間Ⅲ>*	1989 (平成元)	チーク
27	第22回	優秀賞	橋本 裕臣 <丘の上のかたち>	1991 (平成3)	テラコッタ
28	第24回	優秀賞	湯村 光 <起源>	1993 (平成5)	黒御影石
29	第26回	中原悌二郎賞	保田 春彦 <聚落を囲う壁Ⅰ>	1994-95 (平成6-7)	鉄
30		優秀賞	舟越 桂 <そこだけの冬>*	1997 (平成9)	楠に彩色、大理石、ブリキ
31	第27回	優秀賞	岡本 敦生 <地殻-鼓動>	1996 (平成8)	白御影石、マイクロプロセッサ、太陽電池、LED
32	第28回	中原悌二郎賞	下田 治 <かみつくめす犬>	1997 (平成9)	コールテン鋼
33	第29回	中原悌二郎賞	清水 九兵衛 <CORRELATION>*	1999 (平成11)	アルミニウム、陶
34		優秀賞	内田 晴之 <重力環一地>*	2000 (平成12)	チタン、ステンレススチール、マグネット、塗料
35	第30回	中原悌二郎賞	吾妻 兼治郎 <Y U-847>	1997 (平成9)	ブロンズ
36	第31回	中原悌二郎賞	山本 正道 <風と少女>*	2000 (平成12)	大理石
37	第32回	中原悌二郎賞	広井 力 <海の風>	2000 (平成12)	ステンレススチール
38		優秀賞	西野 康造 <アルトサクソ>	1988 (昭和63)	ステンレス
39	第34回	優秀賞	古郡 弘 <胞衣>*	2006 (平成18)	木、土、竹、綿布、銅、鉛、紙
40		優秀賞	保井 智貴 <untitled>	2004 (平成16)	漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、スペクトロライト、大理石
41	第35回	中原悌二郎賞	鈴木 久雄 <距離群>*	2002 (平成14)	鍛造ステンレス鋼
42	第36回	中原悌二郎賞	大平 實 <Casa (家)>	2007 (平成19)	木(割って折った廃材・楓のフレーム)
43	第37回	中原悌二郎賞	小泉 俊己 <水脈(図法-1)>	2010 (平成22)	鉄、木、ガラス、銅、鉛、植物図鑑、胡桃
44	第38回	中原悌二郎賞	植松 奎二 <置一浮遊の場>*	2010 (平成22)	銅、真鍮
45	第40回	中原悌二郎賞	青木 野枝 <原形質/2014>*	2014 (平成26)	鉄、ウレタン、布、石膏
46	第41回	中原悌二郎賞	三沢 厚彦 <Animal 2017-05>	2017 (平成29)	樟、油彩
			*は受賞代替作品		

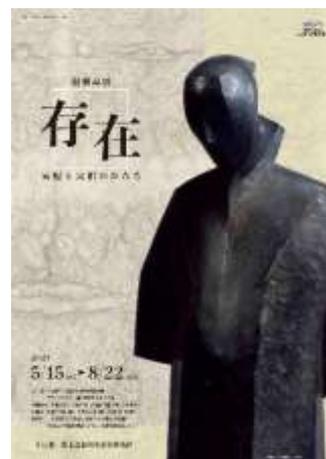
### 3 収蔵品展「存在－気配と実相のかたち」

■会期 令和3年5月15日(土)～令和3年8月22日(日)  
会期延長 令和3年8月24日(火)～令和3年10月24日(日)

■開催日数 83日間  
(令和3年5月17日～令和3年6月20日、  
令和3年8月20日～令和3年9月30日までコロナに  
より臨時休館)

■展示作品数 彫刻 19点

■観覧者数 1,032名(一般529人/高校生8人/中学生以下272人/70  
才以上市民23人/免除200人)



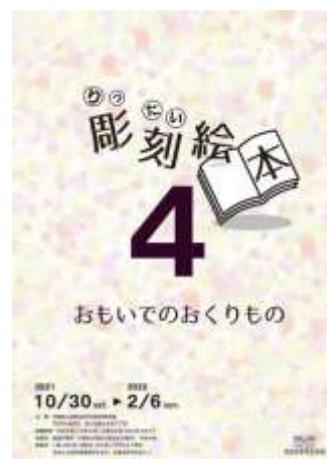
ポスター

旭川市彫刻美術館が収蔵する約1,200点超の彫刻・平面作品の中から、人体をモチーフとした作品を取り上げ、収蔵品展を開催した。時代や洋の東西を問わず、表現者にとって人体は最も身近な題材であり、人間像は時代の移り変わりと共に制作の目的や表現の手法を変化させながら、古くから連綿と造り続けられてきた。近代になり、人間像が宗教上の需要から解放され純粋な芸術作品として独立するようになると、彫刻家たちは、人体の複雑性や均整に対する構造的な興味や人の存在に対する哲学的な関心を根底として、量塊の中から存在感や生命感をいかに発出するかということに腐心しながら人体彫刻に取り組むようになった。戦後になると、彫刻は多種多様な素材や技法を獲得することで表現の幅を急速に拡大していく。それに伴って人体を題材とした作品も表現の手法が多彩なものとなったが、「人」という対象に主眼を置いた作品では、人がそこに「いる」という「存在」を作品の内に表すことから逃れることはできず、気配や雰囲気や造形の中に取り込んだり、意志があることを思わせたりすることで、作品という「もの」に人間味や人の存在感を与えようとしている。本展では、それぞれの作家たちがどのように人の存在を表現しているかに着目しながら、優れた人間像がみせる様相を紹介した。

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行cm）
1	中原 悌二郎	乞食老人	1918	ブロンズ	51.5×31.5×32
2	中原 悌二郎	墓守老人	1916	ブロンズ	60×36×43
3	中原 悌二郎	平櫛田中像	1919	ブロンズ	38×26×22
4	本郷 新	津田清楓像	1974	ブロンズ	44×25×31
5	西 常雄	藤原義江像	1970	ブロンズ	52×25.2×26
6	吉田 芳夫	白道	1976	ブロンズ	71×31×33
7	清水 良治	孤影	1981	ブロンズ	59×21×20
8	加藤 顕清	盲目のアコーディオン奏き	1960	ブロンズ	23×18×15.5
9	藤川 叢三	テラコッタ 1	1975	テラコッタ	32×22×19
10	城田 孝一郎	着衣像	1974	ブロンズ	103×59.5×24
11	本田 明二	マント・風	1985	木	137×49×40
12	本田 明二	漁夫	1970	テラコッタ	45×30×24
13	鈴木 実	私自身の肖像	1993	紙、鉛筆	41×31
14	鈴木 実	押しよせる闇ー私自身の肖像	1993	紙、鉛筆	44.5×36
15	鈴木 実	妻の肖像	1979	ラワン	120×48×53
16	舟越 桂	教会とカフェのために I	1987	紙、エッチング	14.7×9.6
17	舟越 桂	教会とカフェのために II	1987	紙、エッチング	14.7×9.6
18	舟越 桂	点の中の距離	2003	楠に彩色、大理石	91×55×30
19	舟越 保武	原の城	1971	ブロンズ	192×55×57

#### 4 企画展「彫刻絵本4 おもいでのおくりもの」

- 会期 令和3年10月30日（土）～令和4年2月6日（日）
- 開催日数 81日間
- 展示作品数 彫刻15点
- 観覧者数 678名（一般352人／高校生7人／中学生以下82人／  
70才以上市民13人／免除224人）



ポスター

彫刻作品の鑑賞が難解なものとして一般に受け止められている主な理由として、作者の制作意図や作品の持つ意味を推し量ろうとする鑑賞者の意思と、作品が生み出された背景や作者に関する予備知識なしには正確な作品判断が困難であることとの隔たりが挙げられる。こうした状況は抽象的な要素を含む作品において顕著に現れ、鑑賞者の感性による自由な作品解釈を阻害する要因となっている。

そこで、作品の意図や意味から鑑賞を一時的に開放し、作品の造形性とその形が持つ面白さや不思議さなどに着目できるための試みとして、平成16年度から平成18年度にかけて3回の「<sup>りったい</sup>彫刻絵本」展を開催した。この企画は、オリジナルの物語を作り、そこに登場する事物として彫刻美術館の収蔵作品を紹介するものであり、過去3回の開催では鑑賞者に好意的に受け止められてきた。約15年振りの開催となる「<sup>りったい</sup>彫刻絵本4」では、「おもいでのおくりもの」と副題し、不思議な体験を通して思い出を紡ぐことの大切さを知る少女の様子を物語とした。

なお、物語中における作品の紹介方法は、必ずしも作者の意図や作品の意味に沿ったものではないことをパネル等で注釈した上で展示した。

No.	作者名	作品名	制作年	材質	寸法(高×幅×奥行cm)
1	建畠 覚造	WAVING SHELF	1994	紙, 鉛筆	48.5×32.7
2	戸張 孤雁	虚無	1920	ブロンズ	51.4×29.1×30.6
3	中井 延也	砂嵐その1	1992	紙, 茶コンテ	48×54
4	三沢 厚彦	Animal 2017-05	2017	樟, 油彩	92×29.5×87
5	木内 克	水盤	1964	ブロンズ	27.2×54×34
6	藤川 叢三	坐像8	1967	ブロンズ	31×17.7×24.7
7	植松 奎二	螺旋の気配	2004	紙, 鉛筆	77×57.5
8	向井 良吉	トンボ眼鏡のトランペットとバンジョー	1980	エッチング	6.7×11.2
9	江口 週	漂流と原型'77-M-2	1977	桜	34×80×26
10	掛井 五郎	花・花	1993	エッチング	14.8×9.8
11	掛井 五郎	花・花	1993	エッチング	14.8×9.8
12	植松 奎二	浮く枝	2013	紙, 鉛筆	57×308
13	植松 奎二	置-浮遊の場	2010	銅, 真鍮	50×240×50
14	深井 隆	緑の部屋	2003	紙, 鉛筆, パステル	27.5×25
15	佐藤 忠良	カンカン帽	1975	ブロンズ	60×51.5×40

## 5 企画展「素材へのアプローチー中原悌二郎賞受賞作家の金属彫刻から」

- 会期 令和4年2月11日(金)～令和4年7月3日(日)
- 開催日数 123日間
- 展示作品数 17点
- 観覧者数 1,257名(一般728人/高校生17人/中学生以下303人/70才以上市民39人/免除170人)



ポスター

令和3年11月に選考した第42回中原悌二郎賞は、西野康造による<Walking in the Sky>が受賞作品となった。西野の卓越した溶接技術や電解着色などの手法が駆使し素材を巧みに取り扱ったこの作品は、チタン合金の軽さと強さを生かした鮮鋭な作品に仕上げられている。戦後の現代彫刻は、高度経済成長に伴う産業構造や生活書式の変化と歩調を合わせるように新しい素材や表現方法を獲得しながら表現の幅を拡大し、新素材と新技術が持つ特質や特性が作品の性質を決める大きな要因となるに至った。

中原悌二郎賞は戦後日本の彫刻界を牽引してきた彫刻家たちが歴代の受賞者に名を連ね、賞の歴史は戦後日本彫刻史の縮図となっている。創設初期の1970年代には奨励賞的位置付けの中原悌二郎賞優秀賞に金属を使った作品が見られ、1990年代以降は中原悌二郎賞の受賞作品にも金属を素材とする彫刻が多数見られる。これらの金属を素材とした彫刻たちは、使われている金属の種類も加工の技法もそれぞれ異なり、そのために作品の性質もまた多種多様なものとなっている。本展では、旭川市彫刻美術館が所蔵する中原悌二郎賞受賞作家の作品群から金属を素材とした彫刻を取り上げ、それぞれの作家がどのように素材を扱い作品を制作しているか、そして、素材の扱い方が作品の性質にどのように反映されているかを紹介した。

展示目録						
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法(高×幅×奥行 cm)	備考
1	保田 春彦	作品	1969-70	ステンレス	190×27×65	第2回中原悌二郎賞 彫刻の森美術館賞
2	小田 襄	円柱と方形の要素	1979	ステンレススチール	99×26×23	第8回中原悌二郎賞優秀賞代替
3	向井 良吉	GARONNEの旅から	1984	白銅	50×40×30	第15回中原悌二郎賞
4	建畠 覚造	CLOUD-4	1981	ジュラルミン	92×70×12	第12回中原悌二郎賞
5	若林 奮	100粒の雨滴Ⅲ	1977-79	銅, 真鍮	8×100×100	第9回中原悌二郎賞優秀賞
6	土谷 武	虫Ⅲ-a	1975	鉄	100×70×50	第6回中原悌二郎賞優秀賞
7	湯原 和夫	門	1972	真鍮	37×36.5×36.5	第3回中原悌二郎賞優秀賞
8	植松 奎二	置-浮遊の場	2010	銅, 真鍮	50×240×50	第38回中原悌二郎賞代替
9	植松 奎二	3つのかたち-垂・傾	1997	銅, ワイヤロープ	203×126×75	第28回中原悌二郎賞優秀賞
10	青木 野枝	空の粒子2009-II	2009	鉄(コルテン鋼)	158×165×104	
11	鈴木 久雄	距離群	2002	鍛造ステンレス鋼	235×165×140	第35回中原悌二郎賞代替
12	鈴木 久雄	距離片 旭川No.1	2006	鍛造ステンレス鋼	15.9×15.2×11.5	
13	鈴木 久雄	距離片 旭川No.2	2006	鍛造ステンレス鋼	17.9×10.5×12.7	
14	鈴木 久雄	距離片 旭川No.3	2006	鍛造ステンレス鋼	17.7×17.5×12	
15	鈴木 久雄	距離片 旭川No.4	2006	鍛造ステンレス鋼	11.2×7×12.7	
16	鈴木 久雄	距離片 旭川No.5	2006	鍛造ステンレス鋼	7.7×9×12.5	
17	西野 康造	アルトサックス	1988	ステンレス	70×12×34	第32回中原悌二郎賞優秀賞代替

## II 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー(分館)

彫刻のまちとして知られる旭川の魅力を来訪者に広く紹介すると共に、彫刻美術館本館への訪問や野外彫刻鑑賞のきっかけとすることを目的として、平成24年度にオープンした。

砂澤ビッキ<カムイミントラ>を常設展示するほか、旭川と旭川ゆかりの彫刻家の作品等、彫刻美術館所蔵作品による企画展を年に数回開催している。

### 1 企画展「中原悌二郎賞創設50周年特別展『& MORE in Station Gallery』」

- 会期 令和3年3月27日(土)～令和3年5月30日(日)  
会期延長 令和3年5月31日(月)～令和3年7月12日(月)
- 開催日数 66日間(令和3年5月17日(月)～令和3年6月20日(日)までコロナにより臨時休館)
- 展示作品数 9点
- 観覧者数 1,045名(一般931人/高校生以下93人/団体21人)

本展では、本館においてなかなか展示する機会のない受賞作品を展示し、中原悌二郎賞の意義について広く紹介した。

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	備考
1	清水 九兵衛	AFFINITY	1975	アルミニウム合金	第6回優秀賞受賞作品
2	田中 信太郎	ディスタンスシリーズ 四つのアール	1976	鉄	第7回優秀賞受賞作品
3	篠田 守男	TC6111	1992	アルミニウム、ステンレス、真鍮	第4回優秀賞代替作品
4	植松 奎二	3つのかたち-垂・傾	1997	銅, ワイヤロープ	第28回中原悌二郎賞優秀賞
5	今村 源	2008-10ダイブIV	2008	樹脂、アルミニウム、ステンレススチール	第35回優秀賞代替作品
6	多和 圭三	水	2002	鉄	第33回優秀賞代替作品
7	加藤 昭男	何処へ	1992	ブロンズ	第25回中原賞受賞作品
8	池田 宗弘	本の中の話がことごとく真実のことと思われた	1991	真鍮	第20回中原賞代替作品
9	石井 厚生	時空・61	1992	トラバーチン	第23回優秀賞受賞作品
s-1	砂澤 ビッキ	カムイミントラ	1977	セン	
s-2	砂澤 ビッキ	樹蝶・樹蛙	1977	セン	

## 2 企画展「人はそれぞれ、椅子もそれぞれ、かけ心地もまたそれぞれ」展

- 会期 令和3年7月17日(土)～令和3年10月3日(日)
- 開催日数 37日間(令和3年8月20日(金)～令和3年9月30日(木)までコロナにより臨時休館)
- 展示作品数 52点
- 観覧者数 741名(一般645人/高校生以下65人/団体31人)
- 協力 旭川家具工業協同組合、織田憲嗣、織田コレクション協力会、東川町

織田コレクションからはデスクワーク用にデザインされた家具や椅子、旭川家具からは実際に座れる椅子を展示した。

## 3 企画展「大学生作品展 2021」

- 会期 令和3年10月9日(土)～令和3年11月14日(日)
- 開催日数 37日間
- 展示作品数 12点
- 観覧者数 565名(一般506人/高校生以下43人/団体16人)

旭川市彫刻美術館の分館施設であるステーションギャラリーは、旭川、北海道ゆかりの彫刻家の作品を展示するとともに、地元である旭川の芸術家の作品発表の場とすることを活用方針の一つとしている。

この企画展では、次代を担う若手芸術家の発表の場として、北海道教育大学旭川校の大学生による作品展を開催した。

展示目録						
No.	作者No	作者名	学年	内容	作品名	規格
1	1	田中 楓	1	絵画	買物公園の空	606×500mm
2				絵画	公園の風景	910×727mm
3	2	寺谷 湖子	1	版画	ひまわり1	226×350mm
4				版画	ひまわり2	375×165mm
5				版画	ひまわり3	265×330mm
6	3	齋藤 夢珠	2	絵画	うたたね	273×220mm
7				絵画	わかれ道II	455×380mm
8				絵画	貧乏な画家	333×242mm
9				彫刻	こころみ	800mm(高さ)
10	4	林 優希	3	絵画	炎天下のコーラ	909×727mm
11				絵画	情熱のナルシズム	1168×910mm
12				絵画	マックシェイカー野郎	1168×910mm

#### 4 企画展「マスターピースオブチェアーズ展-織田コレクションから-」

- 会期 令和3年11月20日(土)～令和4年2月20日(日)
- 開催日数 93日間
- 展示作品数 40点
- 観覧者数 1,286名(一般1,201人/高校生以下85人/団体0人)
- 協力 旭川家具工業協同組合、織田憲嗣、織田コレクション協会、東川町

織田コレクションの中から、製造数が少なく世界に数脚しか存在しないものなど、特に希少性が高い椅子を展示した。

#### 5 企画展「樹木との対話-北の彫刻家たち-展」

- 会期 令和4年2月26日(土)～令和4年5月29日(日)
- 開催日数 80日間
- 展示作品数 16点
- 観覧者数 1,705名(一般1,561人/高校生以下144人/団体0人)

旭川市彫刻美術館が収蔵する約1,200点超の彫刻・平面作品の中から、北海道の彫刻家による木彫作品を取り上げ紹介するとともに、開館10周年を迎えた中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリーのこれまでの企画展示の歩みをパネルで紹介。



ポスター

展示目録						
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）	備考
1	板津 邦夫	星と月と太陽	2005	紙, 木版画	46.7×38.2	
2	板津 邦夫	星と月と	1972	イチイ	41×20×7	
3	板津 邦夫	風神・雷神	1994	木版	52.2×34	
4	板津 邦夫	'93 風神・雷神	1993	クルミ（着色）	182.5×60.5×42.5	
5	板津 邦夫	「北の歳時記」より初夏	1990	クルミ（着色）	189×43×40	
6	長澤 裕子	カゼノコエヲキケ	2008	ミズナラ	140×70×70	2点組
7	砂澤 ビッキ	カムイミンダラ	1977	セン	116×338×69	
8	砂澤 ビッキ	樹鈴	1977	セン	49.5×28.5×12.3	
9	砂澤 ビッキ	樹蝶	1977	セン	86×120×18	
10	砂澤 ビッキ	樹鮭	1977	セン	174×71×17	
11	本田 明二	えものを背負う男	—	木	121×61×23	
12	本田 明二	けものを背負うノチクサ	1981	木	195×83×55	
13	本田 明二	マント・風	1985	木	137×49×40	
14	本田 明二	うずくまる裸婦	1979	木	128×52×56	
15	本田 明二	仔馬	—	木	70×50×20	
16	本田 明二	馬	1971	木	120×70×35	

## 教育普及活動

### 1 旭川彫刻散歩

市民が彫刻に親しむ機会を設け、彫刻に対する理解を深めてもらうことを目的に実施している。令和3年度は、講師の解説を聞きながら旭川花咲大橋や彫刻美術館などに設置されている彫刻作品を鑑賞した。

- 開催日 令和3年11月6日（土）  
参加者数 9人
- 見学場所 花咲スポーツ公園、花咲大橋・彫刻美術館
- 講師 岩永 啓司氏（彫刻家）



旭川彫刻散歩

### 2 こども工作ワークショップ

#### 「なりきりパティシエのなんちゃってパフェ～紙粘土の可能性～」

こどもたちがパティシエの恰好をして、いろいろな工作技法をもちい、パフェをモチーフとした紙粘土工作を行った。

- 開催日 令和3年7月17日（土）
- 主催 旭川大学短期大学部椎名ゼミナール
- 会場 彫刻美術館研修室



こども工作ワークショップ

■講師 旭川市立大学短期大学部椎名ゼミ学生

### 3 こども彫刻教室

#### (1) 「今日から君も彫刻家！～おもしろオブジェを作ってみよう～」

自然の木の枝や色々な形の木材をグルーガンやボンドで組み合わせ、自由にオブジェ作品を制作した。

■開催日 令和3年8月7日(土) 午前10時～午前12時30分

参加者数15名(こども8名、保護者7名)

■会場 彫刻美術館研修室

■講師 藤井 忠行氏(彫刻家)



こども彫刻教室(1)

#### (2) 「テラコッタ・コレクション」

赤土粘土をもちい、はにわの形の作品を制作した。

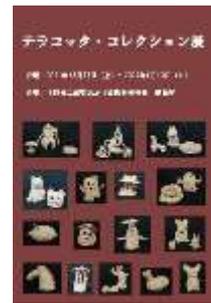
■開催日 令和3年12月4日(土) 第一部 午前10時～正午

第二部 午後1時～3時

参加者数30名(こども20名、保護者10名)

■会場 彫刻美術館研修室

■講師 堤 生野氏(野焼きオブジェ作家)



こども彫刻教室(2)  
(完成作品の展示資料)

### 彫刻巡回展示事業

当館が収蔵する彫刻作品を、より多くの児童生徒及び保護者や地域の方々が身近なところで鑑賞する機会を提供し、彫刻への理解を深め、「彫刻のまち旭川」を広く知ってもらうことを目的として、平成14年度から本事業を毎年実施している。

なお、平成22年度からは市内小中学校に加え、特別支援学校も対象として募集している。

また、彫刻巡回展示実施校を対象に、旭川地域連携アートプロジェクトによる事業の一環として、当館職員等が出向いて彫刻巡回展示の作品を利用した「出前授業」を平成21年度から実施している。

※旭川地域連携アートプロジェクト……北海道教育大学旭川校造形教育研究室の呼びかけにより平成21年2月に発足。

旭川市教育研究会図工・美術部の教員・北海道立旭川美術館(彫刻巡回展示事業には不参加)・旭川市彫刻美術館の4者が連携し、美術館を中心とした鑑賞教育の実践や教育普及活動に広く取り組んでいる。

■展示実施校 市内小中学校(4校×3期=12校 総児童生徒数2,376人)

- 展示期間 第Ⅰ期 (中止)
- 第Ⅱ期 (中止)
- 第Ⅲ期 令和3年9月16日(木)～令和3年10月14日(木)
- 第Ⅳ期 令和3年10月14日(木)～令和3年11月11日(木)
- 第Ⅴ期 令和3年11月11日(木)～令和3年12月9日(木)

■市有施設展示 学校の夏季休暇期間には、毎年市有施設等に作品を展示し、より広く市民への鑑賞の場になっているが、新型コロナウイルス感染拡大の為、令和3年度は展示を中止した。



嵐山小中学校



広陵中学校



近文第二小学校

■展示作品と展示実施校

グループ	作者名・作品名	第Ⅰ期 6/24(木)～7/29日(木)	市有施設期 7/29(木)～8/19(木)	第Ⅱ期 8/19(木)～9/16(木)	第Ⅲ期 9/16(木)～10/14(木)	第Ⅳ期 10/14(木)～11/11(木)	第Ⅴ期 11/11(木)～12/9(木)
第1グループ 「木内克のどうぶつ展」 5点	木内 克<犬> 木内 克<猫> 木内 克<鷺> 木内 克<アマガク> 木内 克<鳩と樹> 計5点	(中止)	(中止)	(中止)	江丹別小中学校	青雲小学校	愛宕東小学校
第2グループ 「山内社夫の世界展～具象から抽象へ～」 6点	山内社夫<踊り子> 山内社夫<婦人立像(着衣)> 山内社夫<ソフミの微笑> 山内社夫<親子像> 山内社夫<母子像> 山内社夫<牧神> 計6点	(中止)	(中止)	(中止)	朝日小学校	北鎮小学校	近文第二小学校
第3グループ 「旭川と彫刻家展～具象と抽象へ～」 4点	加藤顕清<馬> 木内 克<人魚> 山内社夫<鶴の舞> 板津邦夫<星と月と> 計4点	(中止)	(中止)	(中止)	高台小学校	新町小学校	日章小学校
第4グループ 「ひと・かたち～いろいる展」 6点	木内 克<母子像> 木内 克<うなだれた裸婦> 新田 英<青年立像> 藤川巖三<坐像11> 藤川巖三<立像5> 藤川巖三<冬> 計6点	(中止)	(中止)	(中止)	嵐山小中学校	雨紛小学校	広陵中学校

■出前授業実施校

実施日	実施校	対象	参加人数
10月12日(火)	江丹別小中学校	第1～6学年, 中学生第1学年	7人
10月12日(火)	朝日小学校	第5学年	46人
11月9日(火)	青雲小学校	第3、4学年	46人
11月4日(木)、5日(金)、12月16日(木)	新町小学校	第1～6学年	126人
10月15日(金)	雨紛小学校	第1～6学年	11人
11月17日(水)、19日(金)	愛宕東小学校	第4、6学年	199人
12月2日(木)	近文第二小学校	第1～6学年	38人

## 中原悌二郎賞関係事業

本市では、1970（昭和 45）年に中原悌二郎賞を創設し、優れた作品を発表した彫刻家に賞を贈り、受賞作品（または代替作品）を収蔵してきた。平成 15 年度からは隔年で実施するビエンナーレ方式となっており、また、平成 21 年度からは中原悌二郎賞優秀賞を廃して中原悌二郎賞のみの選考となっている。令和 3 年度は第 42 回中原悌二郎賞受賞作品の選考をコロナ禍のため、初めてオンライン会議で行い、受賞者への賞状贈呈は集客を行わず、本市関係者のみの簡易な形式で実施した。

### 1 中原悌二郎賞選考委員会

■開催日 令和 3 年 11 月 26 日（金）

■オンライン会議

■選考委員 選考委員長 酒井 忠康氏（美術評論家、世田谷美術館館長）

選考委員 植松 奎二氏（彫刻家、第 38 回中原悌二郎賞受賞者）

佐藤 友哉氏（美術評論家、札幌芸術の森美術館長）

澄川 喜一氏（彫刻家、第 11 回中原悌二郎賞優秀賞受賞者）欠席

建畠 哲氏（美術評論家、埼玉県立近代美術館長）

■受賞作品 第 42 回中原悌二郎賞 西野康造氏〈Walking in the Sky〉



受賞作品

### 2 中原悌二郎賞賞状贈呈の実施

■開催日時 令和 4 年 3 月 26 日（土） 午前 11 時～午前 11 時 20 分

■会場 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館エントランスホール

■主催 旭川市、旭川市教育委員会

■新収蔵作品解説 西野康造氏（第 42 回中原悌二郎賞受賞者）

■新収蔵作品 〈Sky Memory 'sprit'〉



贈呈式

## 旭川彫刻フェスタ事業

平成 12 年度に彫刻にもっと親んでもらおうと、市内の各界の代表からなる旭川彫刻フェスタ実行委員会が組織され、「旭川彫刻フェスタ」を開催している。本市は、本事業が彫刻のまちづくりを推進していく上で極めて意義のあるものと捉え、負担金を支出している。令和 3 年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、開催は延期となったが、旭川彫刻フェスタ事業の魅力を広く発信することを目的とし、これまで旭川彫刻フェスタ事業において公開制作した彫刻作品や活動実績等を紹介する映像コンテンツを制作した。

## 野外彫刻維持管理事業

旭川市が所有する野外彫刻は平成 13 年度から当館が一括管理しており、補修や写真資料作成等の維持管理に当たっている。また、野外彫刻を良好な状態で維持管理することを目的として平成 14 年 7 月に発足した、清掃活動や周辺環境整備などを行うボランティアの会「旭川彫刻サポート隊」の事務局を当館が担当している。

令和 3 年度は忠別橋の〈家族〉の修復のほか、7 条買物公園の〈開拓のイメージ〉の点検・修復を実施した。

### 1 彫刻清掃ボランティアの会「旭川彫刻サポート隊」

- 募集方法 令和 2 年度からの継続参加者に加え、市民広報誌上で新規参加者を募集した。
- 総会 例年 5 月中旬に総会を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、書面会議をした。
- 対象作品 市所有の野外彫刻 74 点（旭川市彫刻美術館前庭展示作品を含む）
- 会員数 130 人（令和 5 年 3 月 31 日現在）
- 会報等 会報「かふかす」30 号の発行

### 2 その他の野外彫刻清掃

- 旭川市立中央中学校 旭川市立中央中学校 1 学年の「総合的な学習時間」の一環として、買物公園や常磐公園にある野外彫刻の清掃活動を行った。
- 実施日 令和 3 年 7 月 15 日（木）
- 参加者数 生徒数約 100 名・教員若干名・彫刻美術館 3 名
- 清掃作品 市中心部設置作品 24 点

### 3 野外彫刻修繕

- 修繕対象作品 山内壮夫〈家族〉（忠別橋）
- 修繕内容 台座部分に接着されていたプレートが欠落していたため、取り付け
- 修繕対象作品 中井延也《開拓のイメージ》（7 条買物公園）
- 修繕内容 高所作業車による全体の目視点検及び、必要に応じて簡易的な修復等を実施

## その他の事業

### 1 文化の日イベント 施設無料開放日

文化の日のイベントとして、施設の無料開放及び美術講座「小説に描かれた中原悌二郎」を行った。

## <美術講座（小説に描かれた中原悌二郎）>

- 開催日 令和3年11月3日（水・祝）
- 開催場所 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館研修室
- 主催 旭川市、旭川市教育委員会

## 印刷物の発行

印刷物名	判型	発行部数	発行年月
旭川野外彫刻たんさくマップ 2022 年版	A2 判変形両面 2c	2,000	R4.2
令和2年度中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館年報	A4 判 22 頁 1c	370	R4.3
第42回中原悌二郎賞記念図録	A4 変形 12 頁	500	R4.2

## 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会は、旭川市彫刻美術館条例によって設置を定められており、10人の委員によって構成されている。令和3年度は会議を開催し、当館運営について必要な事項の協議のほか、貴重な意見が数多く提起された。

### ■委員名簿（任期：令和2年6月1日～令和4年5月31日）

会長 八重樫良二 副会長 藤井 忠行  
委員 福島 義教 西村 徳清 梶浦 仁 山下 真実 村田 典子  
弦間 信 佐久間裕司 水田 恵學

### ■開催状況

開催日 令和3年6月28日（月）～令和3年7月9日（金）書面会議

- 内容
- 1 令和2年度事業報告について
  - 2 令和3年度事業計画（案）について

## 管理作品

当館では、中原悌二郎の現存する全12作品をはじめ、中原に大きな影響を与えたロダンや萩原守衛、中原の友人であった石井鶴三や堀進二ら近代彫刻の作品、歴代の中原悌二郎賞受賞作家の作品、北海道と旭川にゆかりの深い加藤顕清、山内壮夫らの作品について、彫刻及び平面作品を収蔵している。これらの収蔵作品は、近代から現代へと至る日本彫刻界の変遷を通観できる充実したものとなっている。

### ■管理作品内訳（令和4年3月31日現在）

管理作品総数 1,298 点

- 1 収蔵作品 1,226 点

(1) 彫刻作品 325 点

ア 中原悌二郎作品 12 点

イ 中原悌二郎賞受賞作品 80 点

ウ 木内克作品 78 点

エ 加藤顕清作品 18 点

オ 山内壮夫作品 27 点

カ 藤川叢三作品 36 点

キ その他の作品 74 点

(2) 素描・版画等平面作品 901 点

2 野外彫刻作品 72 点

## 1 令和3年度新管理作品

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(高×幅×奥行cm)	備考
1	西野 康造	Sky Memory 'sprit'	2015	チタン合金、チタン、ステンレス	13.0×810.0×96.0	購入



## 2 貸出し作品等

(1) 展覧会等への貸出し

なし

(2) 公共施設等における展示

(彫刻巡回展示事業での展示については p.14 に掲載)

展示施設	展示場所	作者名	作品名	展示期間
旭川市民文化会館	ロビー	木内 克	母子像	R3.4.1～R4.3.31
旭川市大雪クリスタルホール	1階ロビー	佐藤 忠良	帽子・立像	R3.4.1～R4.3.31
		井上 武吉	my sky hole 91-6-2	R3.4.1～R4.3.31
		山内 壮夫	鶴の舞	R3.4.1～R4.3.31

		森川 亮輔 木内 克	空域 No.2 エーゲ海に捧ぐ	R3.4.1～R4.3.31 R3.4.1～R4.3.31
旭川市東光図書館	閲覧コーナー	佐藤 忠良	三浦綾子	R3.4.1～R4.3.31
永山市民交流センター	ロビー	井田 勝己	月に向かって進め	R3.4.1～R4.3.31
旭川市東旭川公民館（本館）	1階ロビー	木内 克	母子像	R3.4.1～R4.3.31
旭川市中央図書館	2階ロビー	木内 克 山内 壮夫	人魚 うずくまる	R3.4.1～R4.3.31 R3.4.1～R4.3.31
	1階ロビー	田村 審火	舞踏構想 S	R3.4.1～R4.3.31
JR 旭川駅	北側通路	江口 週 若林 奮	繋がれたアーチ DaisyIII-2	R3.4.1～R4.3.31 R3.4.1～R4.3.31
	西コンコース	安田 侃	天秘	R3.4.1～R4.3.31
	東口	神田比呂子	Le Lac	R3.4.1～R4.3.31
旭川市総合庁舎	2階秘書課応接室	加藤 顕清	女の首	R3.4.1～R4.3.31

## ボランティアの会「みゅうず」

ボランティアの会「みゅうず」は、彫刻美術館の運営を支援する目的で平成6年6月、当館のオープンに合わせて美術好きの市民らによって創設された。現在は40人程度の会員を擁し、館内ラウンジに喫茶・物販コーナーを設置している。また、美術館の鑑賞研修などに取り組んでいるほか、当館の事業にも積極的に参加している。

「みゅうず」が運営する喫茶コーナーは来館者の憩いの場となっており、コーヒー、紅茶などをメニューとして美味しくて安いと好評を得ている。

また、ミュージアム・グッズとして、中原悌二郎関係の書籍、当館収蔵作家の作品集、オリジナルの絵葉書などのほか、木内克や加藤昭男制作のペンダント、佐藤忠良制作のブローチ、池田宗弘制作の栓抜きなどを販売している。

## 観覧者数

### 1 彫刻美術館年度別観覧者数の推移

(単位：人)

	一般	高校生	中学生以下	70歳以上市民	免除	年度計
平成6年度	18,432	336	2,986		3,956	25,710
平成7年度	13,065	139	2,735		3,952	19,891
平成8年度	13,970	285	3,063		3,346	20,664
平成9年度	14,075	207	2,422		2,864	19,568
平成10年度	18,495	692	2,107			21,294
平成11年度	16,817	176	2,238			19,231

平成 12 年度	15,915	298	2,163			18,376
平成 13 年度	15,375	160	2,284			17,819
平成 14 年度	15,014	178	1,910			17,102
平成 15 年度	16,210	333	1,611			18,154
平成 16 年度	10,886	346	1,808			13,040
平成 17 年度	10,944	96	1,608			12,648
平成 18 年度	4,937	90	1,408		2,195	8,630
平成 19 年度	5,065	67	1,794		2,894	9,820
平成 20 年度	4,653	39	1,273		2,289	8,254
平成 21 年度	3,825	29	1,336		2,000	7,190
平成 22 年度	4,048	62	1,559		1,856	7,525
平成 23 年度	4,316	93	1,584		2,018	8,011
平成 29 年度	1,135	11	116		3,276	4,538
平成 30 年度	3,028	21	247		1,700	4,996
令和元年度	2,535	21	391		1,281	4,228
令和 2 年度	1,456	20	387		501	2,364
令和 3 年度	1,284	29	465	63	517	2,358

※平成 6 年 6 月 1 日開館 ※平成 10 年度～平成 17 年度は観覧料無料化のため、免除規定を廃止

※平成 24 年 2 月 1 日から長期休館 ※平成 29 年 10 月 8 日より再開館

※令和 2 年 4 月 21 日～令和 2 年 5 月 25 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和 3 年 5 月 17 日～令和 3 年 6 月 20 日、令和 3 年 8 月 20 日～令和 3 年 9 月 30 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

## 2 彫刻美術館ステーションギャラリー一年度別観覧者数の推移

(単位：人)

	一 般	高校生以下	団 体	年度計
平成 24 年度	15,407	1,538	1,069	18,014
平成 25 年度	8,572	823	843	10,238
平成 26 年度	8,841	788	1,339	10,968
平成 27 年度	7,383	701	707	8,791
平成 28 年度	6,341	511	702	7,554
平成 29 年度	11,781	795	984	13,560
平成 30 年度	9,881	643	385	10,909
令和元年度	7,840	533	452	8,825

令和2年度	5,945	494	144	6,583
令和3年度	3,725	338	68	4,131

※平成24年4月21日開館

※令和2年4月21日～令和2年5月25日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和3年5月17日～令和3年6月20日、令和3年8月20日～令和3年9月30日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

### 3 令和3年度 彫刻美術館月別観覧者数

(単位：人)

	一般	高校	中学生以下	70歳以上市民	免除	月計	累計
4月	124	3	9	10	46	192	192
5月	98	2	10	11	15	136	328
6月	36	0	111	5	13	165	493
7月	166	2	44	1	117	330	823
8月	133	5	34	8	34	214	1,037
9月	0	0	0	0	0	0	1,037
10月	218	1	157	10	40	426	1,463
11月	162	2	28	3	160	355	1,818
12月	111	3	32	5	35	186	2,004
1月	61	2	20	4	28	115	2,119
2月	54	1	7	1	7	70	2,189
3月	121	8	13	5	22	169	2,358
合計	1,284	29	465	63	517	2,358	2,358

### 4 令和3年度 彫刻美術館ステーションギャラリー月別観覧者数

(単位：人)

	一般	高校生以下	団体	月計	累計
4月	432	36	5	473	473
5月	143	20	0	163	636
6月	141	6	0	147	783
7月	383	28	22	433	1,216
8月	337	42	0	379	1,595
9月	0	0	0	0	1,595
10月	387	33	41	461	2,056
11月	418	36	0	454	2,510
12月	405	27	0	432	2,942
1月	311	17	0	328	3,270
2月	295	40	0	335	3,605
3月	473	53	0	526	4,131
合計	3,725	338	68	4,131	4,131

【職員名簿】

彫刻美術館長	山腋 雄一						
職員	高橋 伸	山本 和生	朝倉 惇也				
会計年度任用職員	石川 知佳	富田 千香子	井田 千賀	梅村 由佳	関口 佳苗		
	二階堂 智美	信木 恵子	東 ちぐさ	古田 佐登美	前田 洋美		
	木戸 美千代	佐藤 まち子	中山 富美代	福井 志津子	藤田 則子		
ステーションギャラリー							
会計年度任用職員	三浦 美津子	渡邊 大輔	清水 由香里	坪 みゆき	西村 博子		
	松村 有希子	須田 益枝	徳重 弘美	八重樫 晶子			

---

令和3（2021）年度

中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館年報

令和7（2025）年2月14日発行

編集・発行 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館

〒070-0875 旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-46-6277 FAX 0166-46-6288

---